消防広第94号
令和６年３月29日

各都道府県消防防災主管部長　殿

消防庁広域応援室長
（公　印　省　略）

緊急消防援助隊に係る消防本部受援図上訓練企画・実施マニュアルの策定について（通知）

平素は、緊急消防援助隊の運用及び体制の整備等にご尽力を賜り感謝申し上げます。

緊急消防援助隊に係る消防本部の受援計画については、緊急消防援助隊の運用に関する要綱（平成16年３月26日付け消防震第19号）第39条において策定することとされており、消防庁では受援計画の作成が円滑に進むよう、緊急消防援助隊に係る消防本部の受援計画について（令和元年10月28日付け消防広第151号）により、作成例及び作成上の留意点を示してきたところです。

他方で、緊急消防援助隊に係る消防本部の受援計画の策定状況について（照会）（令和３年３月30日付け消防広第122号）によるフォローアップの結果、受援図上訓練の実施方法が分からないとの意見があったことから、その対応策として各消防本部において受援体制の強化を図ることができるよう、このたび、緊急消防援助隊消防本部受援図上訓練企画・実施マニュアル（以下「マニュアル」という。）を策定しました。

つきましては、本マニュアルをご参照いただき、災害時に迅速な受援体制が確立されるよう訓練を実施していただくとともに、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨周知されるようお願いします。

なお、本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

記

１　添付資料

別添１　緊急消防援助隊消防本部受援図上訓練企画・実施マニュアル

別添２　緊急消防援助隊消防本部受援図上訓練企画・実施マニュアル【訓練資料】

２　参考

本マニュアルの解説動画をYouTube「消防庁動画チャンネル」に掲載しておりますので、必要に応じて下記ＵＲＬから参照してください。

【緊急消防援助隊～消防本部～受援図上訓練企画・実施マニュアル（限定公開）】

※限定公開のため、URLは掲載しておりません。詳細は消防庁広域応援室へお問い合わせください。

消防庁 国民保護・防災部 防災課
広域応援室 広域応援企画係
鳥枝理事官・平井係長・藤林事務官・望月事務官・林事務官
電　話 03－5253－7569
ＦＡＸ 03－5253－7537
E－mail：n.hayashi@soumu.go.jp

# 緊急消防援助隊
## ～消防本部～
## 受援図上訓練企画・実施マニュアル

令和６年３月　作成
消防庁 広域応援室

# 目次



目的等

訓練準備の全体的な流れ

訓練準備の詳細

訓練の進め方

更なるレベルアップに向けて

## ■ 訓練で使用する用語

| 用語 | 説明 |
|---|---|
| 付与 | プレイヤーの活動を促し、訓練全体の進行を統制するために、コントローラーがプレイヤーに各種情報を伝達すること。その方法は口頭、紙、電話、FAX等がある。コントローラーは、状況付与一覧表に基づいて、プレーヤーに対して災害状況を付与し、プレーヤー側が対応していくこととなる。 |
| Webシステム | 緊急消防援助隊動態情報システム（DJS）、各消防本部で使用しているPC等のこと。 |
| フェーズ | 段階、区切り、時期のことをいう。本マニュアルでは「発災から緊急消防援助隊の要請まで」と「緊急消防援助隊の要請から宿営場所決定まで」の２つに分けている。 |
| 開示型訓練 | プレイヤーに訓練シナリオ概要版、状況付与一覧表等、全て公開して行う訓練。プレイヤーはどのような災害が来るのかを事前に把握しておいてもらい、動きを確認しながら訓練を行う。動きながら、実災害時の流れの確認、必要な手続の確認ができる。 |
| 非開示型訓練 | 訓練実施計画等の災害の概要をプレイヤーに開示して、行う訓練。プレイヤーは訓練の概要のみしか把握していないため、災害の付与に合わせて、開示型訓練で行った動きをしていき指揮本部の運用をしていくこととなる。また、開示型訓練と違い付与されていく災害から応援要請の判断をしていくため、状況判断力の向上が期待できる。 |

# ～ 目 的 等 ～

## ■ 目的

「緊急消防援助隊の運用に関する要綱」第７章第40条により、地震等により大規模な被害が発生し、緊急消防援助隊が派遣され、受援自治体となった場合の受援体制の強化のため、平常時から緊急消防援助隊の連携活動能力の向上に必要な訓練を行うこととしている。

また、「緊急消防援助隊に係る消防本部の受援計画」（令和元年10年28日付け消防広第151号）の中で、原則年1回、受援訓練を消防本部内で実施するものとしているが、これまで実施するための具体的なマニュアル等は示されていなかったことから、消防本部ごとの受援訓練の実施を促し、受援体制の強化を図るため本マニュアルを作成した。

## ■ 訓練マニュアルの位置づけ

本マニュアルは消防本部での地震災害を想定した図上受援訓練を想定して作成したものである。

なお、一部資料は地域ブロック訓練での都道府県での訓練を想定して作られている「緊急消防援助隊　地域ブロック合同訓練　図上訓練企画・実施マニュアル」（平成30年3月13日付け消防広第128号）を引用しているため、必要に応じてそちらを参考にしていただきたい。

# 2　図上訓練の概要



図上訓練とは、実際に部隊を運用せず、プレイヤーとコントローラーに分かれて、付与された想定を基に情報収集、情報分析及び意思決定を行う災害の状況に対応するロールプレイング方式のシミュレーション訓練である。プレイヤーとコントローラーのやりとりは基本的に電話、電子メール、口頭、FAX（実機操作できない場合は、担当者を設定し担当者による配送。）、WEBシステム等により行うものである。

## ■役割分担

受援に係る図上訓練を行うにあたり、下のメンバーが必要となる。

### ○プレーヤー

実際に訓練を行う職員。消防本部の受援本部の役割を担う。

### ○コントローラー

**・被害情報等を付与するコントローラー**

タイムラインに沿って、プレーヤーに被害情報等を付与する。指令課の職員、実際に現場に出動している消防職員、ニュース報道等の役割を担う。

**・消防応援活動調整本部コントローラー**

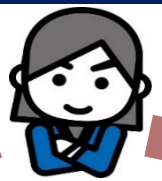
プレーヤーの動きに合わせて状況を付与する。消防応援活動調整本部（県庁職員）の役割を担う。

### ○進行管理

訓練の進捗を管理し、訓練が進行のために必要に応じてプレーヤー、コントローラーに助言を行う。

# 2　図上訓練の概要





進行管理　必要に応じてコントローラーに助言

| プレイヤー | コントローラー |
|---|---|

**被害情報等を付与するコントローラー**

**消防応援活動調整本部コントローラー**

**1**
・○○市町村にて震度○の地震が発生しました。
・地震により、○○市町村にて倒壊建物が複数発生しています。○棟倒壊中。要救助者多数いる模様です。

**2**
警防計画に基づき、○○地区に消防車○台出動させましょう。

**3**
△△市町村においても倒壊建物が複数発生しています。○棟倒壊しており、要救助者は多数いる模様です。

**4**
消防本部の消防力では、災害対応が厳しくなりました。○県消防相互応援協定に基づき、消防の応援を検討しましょう。

**5**
○県消防相互応援協定に基づき、消防の応援をお願いします。

**6**
○県消防相互応援協定に基づき、○○消防本部が○隊応援に駆けつけます。

時間経過

**8**
県内応援隊でも消防力劣勢なので、緊急消防援助隊の要請を知事にお願いしましょう。

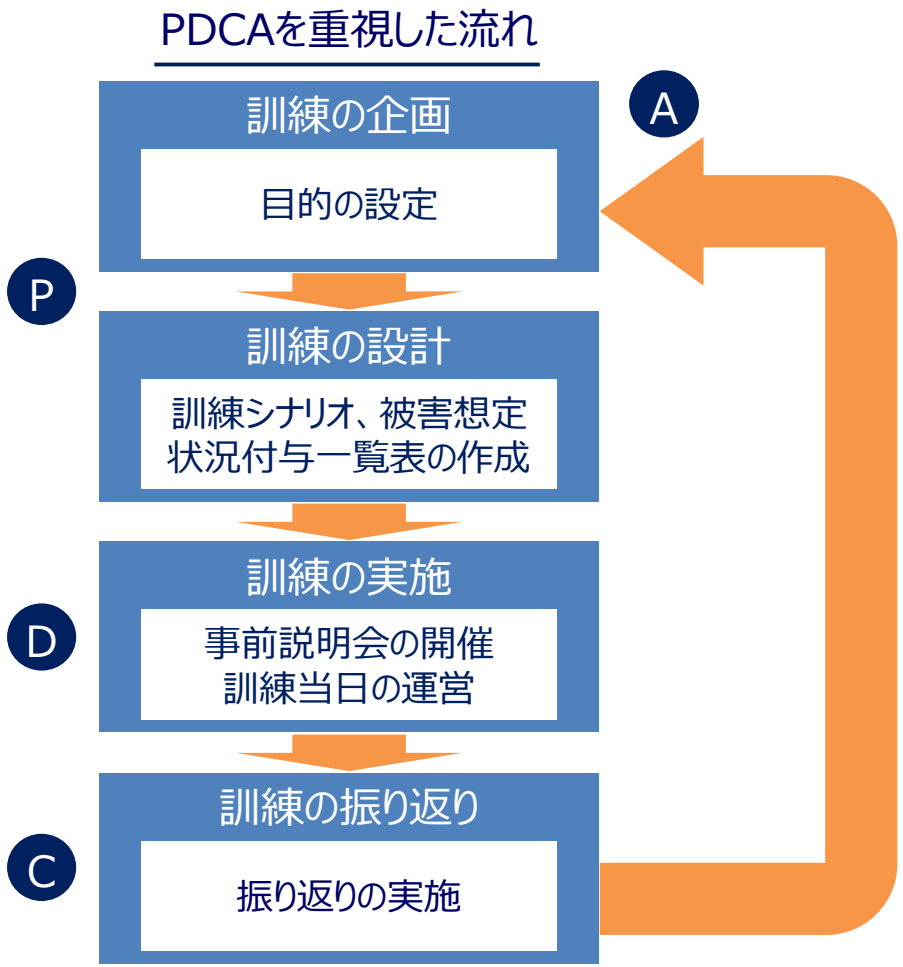
**7**
□□地区にて土砂災害を覚知しました。要救助者も多数いる模様です。

**9**
○○消防です。緊急消防援助隊の要請をお願いします。

**10**
緊急消防援助隊○○県大隊○隊○名、出動します。

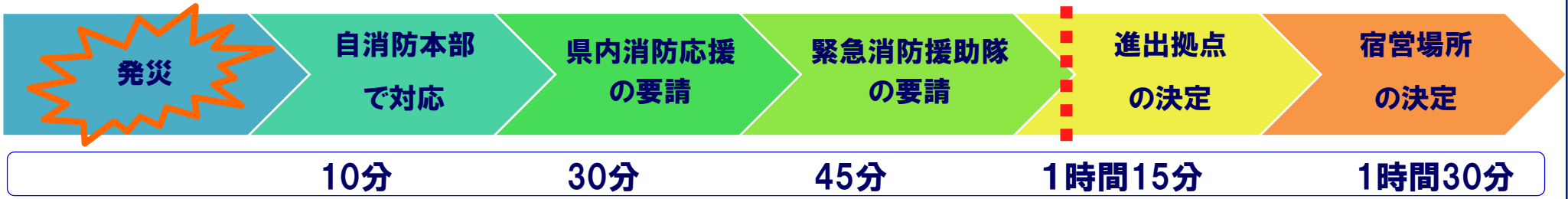
## ■ 訓練の企画から振り返りまでの流れ

本訓練についても、通常の訓練と同様に、PDCAサイクルを重視して企画から振り返りまでの一連の流れで行うことが重要である。



## ■ 訓練の基本的な流れ

初動体制は「発災から緊急消防援助隊の要請まで」「緊急消防援助隊の要請から宿営場所の決定まで」の２つのフェーズから成り立っており、原則、「発災から宿営場所の決定まで」を一連の流れとして行うことが必要である。しかし、実際に訓練を行う場合、時間的な制約がある等により、難しい場合は各フェーズのみで訓練を行う方法もある。




## ■ 訓練実施方法

訓練は実践に即した訓練となるよう、非開示型訓練を行うことで、実践に即した課題がよりわかるようになる。しかし、プレーヤーの熟度が低い場合には、非開示型訓練を行っても課題が明確にならないことが多い。そのため、プレーヤーの熟度に応じて、開示型訓練を行うことが効率的である。（参照：用語の説明）

# ～　訓練準備の全体的な流れ　～
# （地震災害）

※本マニュアルでは、地震災害を想定したものとしている。

# ステップ1（設定事項）

以下の事項を事前に設定してから訓練の準備に取り組む必要がある。

1　災害の規模

2　訓練の範囲

１初動から緊急消防援助隊派遣まで
２緊急消防援助隊の派遣から宿営場所の決定まで
３初動から宿営場所の決定まで

3　訓練の実施方法

非開示型訓練か開示型訓練か

# ステップ2（必要書類の準備）

ステップ１で設定したことを前提に、以下の書類を準備する。

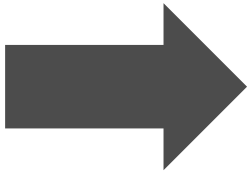
1　訓練実施計画

2　訓練参加者内訳

3　状況付与一覧表

4　応援部隊一覧表

5　訓練シナリオ概要版



それぞれの書類の詳細は「訓練準備の詳細」をご覧ください。

（訓練の種類に関係なく、実際の訓練で使用する資料として下の資料を準備する。）

6　地震情報

7　緊急消防援助隊の様式

# ステップ3（説明会の実施～訓練実施）

1　プレイヤー向け説明会の実施

2　コントローラー向け説明会の実施

3　訓練に必要な資機材の準備

4　訓練実施

初動から宿営場所の決定まで

それぞれの説明会や準備する資機材の詳細は「訓練準備の詳細」をご覧ください。

# ～　訓練準備の詳細　～
# （地震災害）

※本マニュアルでは、地震災害を想定したものとしている。

# 【ステップ２　必要書類の準備】　１　訓練実施計画

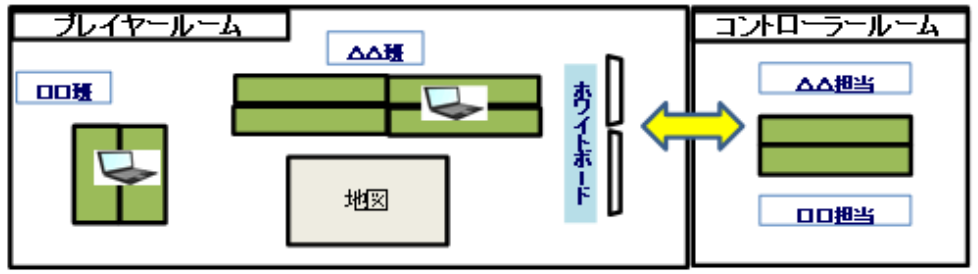


訓　練　日　時: 令和5年4月3日(月)　9時00分　～　10時00分

**訓練主眼**

- 指揮本部業務の習熟を図る。
- 県内応援･緊急消防援助隊の応援要請をできるようにする。
- 緊急消防援助隊の受入れをできるようにする。

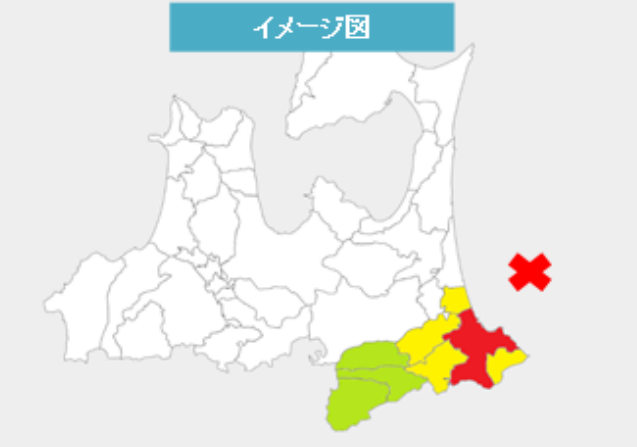
**訓練レイアウト**




**訓練想定**

青森県東方沖を震源とする最大震度6強の地震が発生。

この地震により、八戸市内では火災、家屋倒壊及び道路崩落等、甚大な被害が発生しているとの想定。




●注意事項

・緊急消防援助隊の要請を検討する必要があるため、迅速出動の適用条件（要請要綱第３０条）に該当しないよう訓練想定を作成する。

・実災害と同様に災害対応を行うため、消防本部管内全域の震度を設定する。

・実災害と同様の動きができるよう、実際の災害対応場所で訓練を実施する。

# 【ステップ２　必要書類の準備】　２　訓練参加者内訳



消防本部の運営を行う。

10人規模で訓練をするイメージで人数を記載している。

| 担当 | 役割 | 内容 | 人数 |
|---|---|---|---|
| プレイヤー | 意思決定 | 応援決定等の意思決定をする。主に消防長。 | 1人 |
| | 指揮統制 | 指揮本部の運営を統制する。主に警防課長。 | 1人 |
| | 情報収集・連絡調整 | 災害の情報を収集、整理、消防応援活動調整本部等の関係機関への連絡を行う。 | ２人 |
| | ホワイトボード | 災害情報等をホワイトボードや地図にまとめる。 | 1人 |
| | 様式作成 | 緊急消防援助隊の応援要請等の様式の作成する。 | 1人 |
| コントローラー | 災害情報付与役 | 災害の情報をプレイヤーに付与する。 | 1人 |
| | 消防応援活動調整本部役 | 応援部隊の情報を付与する。 | 1人 |
| 進行管理 | 進行管理役 | シナリオ通りに訓練が進むよう、随時コントローラーにプレイヤーの状況を提供し、調整を図る。 | 2人 |

災害の情報を付与する役割と、プレイヤーからの問い合わせ、報告等に対応をする役割を想定すること

# 【ステップ２　必要書類の準備】 ３　状況付与一覧表



実際にコントローラーが動けるように想定しながら作成することが重要。

都道府県や市町村が作成している「地域防災計画」や中央省庁が公開している被害想定を踏まえると効果的。

| 通番 | 付与項目 | 状況付与担当（コントローラー） | 付与元 | 付与時刻 | 付与条件 | 付与先 | 付与方法 | 付与内容 | 添付資料 | 時間経過後情報 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地震情報 | 災害付与担当コントローラー | 地震情報役 | 9時00分 | 定時付与 | 訓練プレイヤー（○○班） | 口頭/紙（実態に合わせ記入） | 地震発生。<br>●●地区で「震度5強」が観測されました。<br>各所においては大規模災害時における初動体制を整えてください。<br>なお、庁舎は停電となりましたが、非常電源設備が正常に作動しましたので、庁舎内における電気機器の使用は可能です。 | 地震情報用紙 | － |
| 2 | 災害情報 | 災害付与担当コントローラー | １１９番通報役（指令課役） | 9時05分 | 定時付与 | 訓練プレイヤー（○○班） | 口頭（実態に合わせ記入） | ○○市○○町○番○丁目で○○宅の2階建て建物が倒壊しています。<br>数名が建物の下敷きになっている模様です。 | 添付資料なし | 30分後<br>○○宅の3名と発覚 |
| 3 | 災害情報 | 災害付与担当コントローラー | １１９番通報役（指令課役） | 9時08分 | 定時付与 | 訓練プレイヤー（○○班） | 口頭（実態に合わせ記入） | ○○市○○町○番○丁目で○○宅の平屋の建物が倒壊しています。<br>要救助者の情報は未定です。 | 添付資料なし | 30分後<br>○○さんは外出中を確認。要救助者は無し。 |
| 4 | 災害情報 | 災害付与担当コントローラー | １１９番通報役（指令課役） | 9時10分 | 定時付与 | 訓練プレイヤー（○○班） | 口頭（実態に合わせ記入） | ○○市○○町○番○丁目で火災が発生しています。<br>1棟延焼中。<br>数名が逃げ遅れは確認中です。 | 添付資料なし | 15分後<br>延焼拡大の恐れあり。<br>逃げ遅れ無し。 |

代表的な付与情報としては、

気象庁から付与される地震情報、１１９番通報で付与される災害情報、現場指揮本部・指令課等から付与される災害情報等がある。

一人のコントローラーが複数の役割を果たすことが通常。

時間通りに付与される「定時付与」と、プレイヤーの対応によって付与時間が調整される「条件付き付与」の２種類がある。

電話やメール、口頭等で行う。

被害内容が時間とともにどのように変化していくのかを記載しておく。

# 【ステップ２　必要書類の準備】　４　応援部隊一覧表



プレイヤーが応援部隊の状況をコントローラーに問い合わせたときに回答できるように状況を作成する。
部隊到着までの訓練を行う場合は、部隊の到着状況の表も作成すること。

| NO | 応援部隊ジャンル | 部隊種別 | 県・消防本部 | 何隊 | 何人 | 出動の可否 | 出動予定時間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 県内応援隊 | - | 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 | 3隊 | 15人 | 可 | 要請から10分後 |
| 2 | 県内応援隊 | - | 弘前地区消防事務組合 | ー | ー | 否 | ー |
| 3 | 県内応援隊 | - | ○○消防本部 | ○隊 | ○人 | 可 | 要請から20分後 |
| 4 | 県内応援隊 | - | ○○消防本部 | ○隊 | ○人 | 可 | 要請から20分後 |
| 5 | 緊急消防援助隊 | 統括指揮支援隊 | 宮城県仙台市消防局 | 1隊 | 5人 | 可 | 要請から40分後 |
| 6 | 緊急消防援助隊 | 指揮支援隊 | 新潟県新潟市消防局 | 1隊 | 5人 | 可 | 要請から40分後 |
| 7 | 緊急消防援助隊 | 都道府県大隊 | 岩手県 | 57隊 | 285人 | 可 | 要請から50分後 |
| 8 | 緊急消防援助隊 | 都道府県大隊 | 宮城県 | 55隊 | 275人 | 可 | 要請から50分後 |
| 9 | 緊急消防援助隊 | 都道府県大隊 | 秋田県 | ー | ー | 否 | ー |
| 10 | 緊急消防援助隊 | 都道府県大隊 | 山形県 | 42隊 | 210人 | 可 | 要請から1時間後 |

各都道府県の応援等実施計画を踏まえ作成すること。
緊急消防援助隊動態管理システム内の緊援隊ＷＩＫＩに掲載あり。

実際の出動状況を想定して、
可否を設定する。

# 【ステップ２　必要書類の準備】
# ５　訓練シナリオ概要版（発災～緊急消防援助隊の要請まで）



■訓練シナリオ概要版の作成(本シナリオは地震災害を例とし、迅速出動にならない訓練を企画できるようにする）

概ね15分程度の時間軸に、各機関の想定される活動を検討する。

| | | プレイヤー（訓練を行う職員） | コントローラー（訓練を行う職員に付与をしていく職員） | |
|---|---|---|---|---|
| | 担当 | 被災地消防本部 | 被害情報関係 | 県庁（消防応援活動調整本部） |
| | 内容 | コントローラーからの付与に実災害と同様の動きをし対応する。 | 被災地消防本部管内の被害情報等を付与する。 | 被災地消防本部からの連絡を受け入れ、その対応をする。 |
| フェーズ | 時間軸 | | | |
| | | 発災 | ○○県沖で震度6強の地震発災　※津波の心配は無し | |
| 発災～緊急消防援助隊要請まで | 00分～ | ○職員参集し、指揮本部の設定をする。<br>○被害状況の確認をし、被災地消防本部の警防計画に従って、付与された災害に消防車両等を出動させ、災害の対応に充てていく。<br>○被害状況のとりまとめを継続して行っていく。 | ○被害状況の付与をする。<br>（状況付与一覧表にしたがって、随時付与していく） | ○災害速報依頼を送付する。 |
| | 15分 | | | |
| | 15分～ | ○災害の対応を継続していく中、相互応援が必要か検討し、必要な場合は応援要請をする。<br><br>○相互応援協定の部隊の到着までに、どの災害を対応してもらうかを検討し見通しを立てておく。<br><br>○災害速報の回答をする。 | ○被害状況の付与をする。<br>（状況付与一覧表にしたがって、随時付与していく） | ○相互応援協定の要請を受け入れる。<br>○相互応援協定の部隊が何隊出動するかを報告する。 |
| | 30分 | | | |
| | 30分～ | ○災害の対応を継続していく中、緊急消防援助隊が必要か検討し、必要な場合は応援要請をする。 | ○被害状況の付与をする。<br>（状況付与一覧表にしたがって、随時付与していく） | ○緊急消防援助隊の要請を受け入れる。<br><br>○消防庁に緊急消防援助隊の要請をした体で、緊急消防援助隊の応援決定通知をする。 |
| | 45分 | | | |
| | 訓練終了 | | | |

・「３　状況付与一覧表」と齟齬がないように作成する。

・時系列を意識し訓練シナリオを作成する。

・応援要請の検討・決定までのスキームを明確にしておくこと。

■訓練シナリオ概要版の作成(本シナリオは地震災害を例とし、迅速出動にならない訓練を企画できるようにする)

概ね15分程度の時間軸に、各機関の想定される活動を検討する。

| | | プレイヤー（訓練を行う職員） | コントローラー（訓練を行う職員に付与をしていく職員） | |
|---|---|---|---|---|
| | 担当 | 被災地消防本部 | 被害情報関係 | 県庁（消防応援活動調整本部） |
| | 内容 | コントローラーからの付与に実災害と同様の動きをし対応する。 | 被災地消防本部管内の被害情報等を付与する。 | 被災地消防本部からの連絡を受け入れ、その対応をする。 |
| フェーズ | 時間軸 | | | |
| | | 訓練プレイヤーに緊急消防援助隊の要請が終了している、応援部隊の情報を提示してから訓練を開始する。 | | |
| 要請～宿営場所決定まで | 00分～15分 | ○応援部隊の情報の整理をする。 | | ○緊急消防援助隊の出動隊数通知をする。 |
| | 15分～30分 | ○進出拠点を報告する。 | ○必要に応じて災害の経過情報を伝える。 | ○進出拠点の報告を受ける。<br>○進出拠点の決定の旨を伝える。 |
| | 30分～45分 | ○宿営場所を報告する。 | | ○宿営場所の報告を受ける。<br>○宿営場所の決定の旨を伝える。 |
| | 訓練終了 | | | |

実際に気象庁から送られてくる地震情報を修正したもの。

訓　練

地震情報（震源・震度に関する情報）

＊＊＊　これは訓練です　＊＊＊

[地震発生時刻]　令和5年4月3日9時00分
[震央地名]　青森県東方沖
[震源要素(日本測地系)]　北緯41.03度 東経142.23度

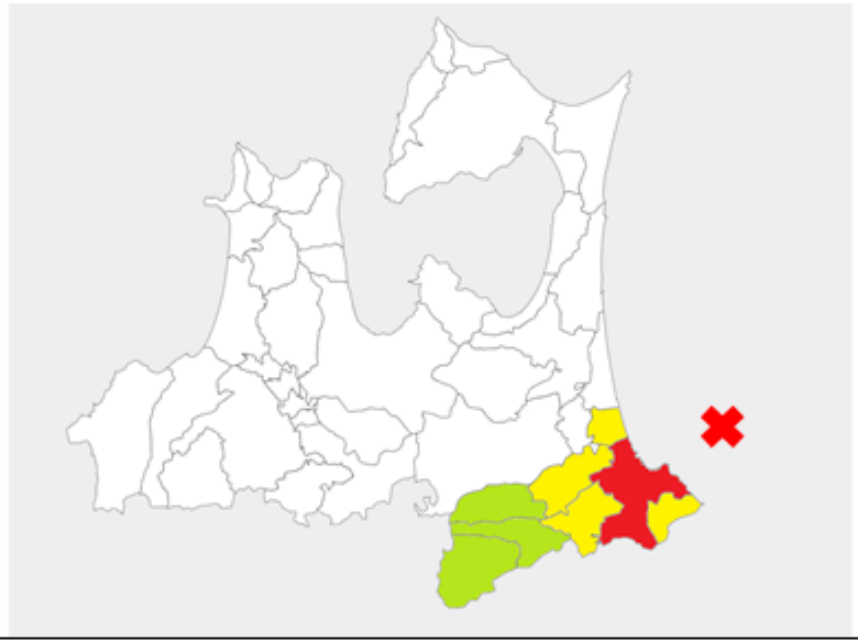
【震度の観測】
最大震度
青森県　6強　八戸市
6弱　階上町　五戸町　南部町　おいらせ町
5強　新郷村　三戸町　田子町
5弱

【付加文】
この地震により津波警報の心配はありません。

※地震情報シートは訓練用に修正したものです。実際の気象庁から送られてくる内容とは異なります。

【震度分布図(消防本部管内のみ色を付けています)】

6強　八戸市
6弱　階上町　五戸町　南部町　おいらせ町
5強　新郷村　三戸町　田子町



受援の訓練であるため、緊急消防援助隊の迅速出動（要請要綱第３０条）に該当しないように設定すること。

受援の訓練であるため、津波被害もないように設定すること。

詳細な震度は消防本部管内のみで構わない。

## ○緊急消防援助隊の応援を行う様式

プレイヤーからコントローラー（都道府県）に送る。

別記様式1－2　（第4条、

記入例（例1第2報）

### 応援等要請のための連絡事項

※いずれかに● ● 応援等の要請　　増隊要請（第　　報）

送信時間　令和　5 年　4 月　3 日 ● 時 ● 分

（消防庁長官又は都道府県知事）殿

（被災地の市町村長）

緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱第4条の規定に基づき、次のとおり詳細な災害の状況及び大規模な消防の応援等に関する事項を連絡します。

| | |
|---|---|
| 災害発生日時 | 令和　5 年　4 月　3 日　9 時　0 分頃 |
| 災害発生場所 | 青森県（都道府県）　八戸市（市区町村） |
| 応援等要請日時 | 令和　5 年　4 月　3 日　● 時 ● 分 |
| 災害の状況 | 土砂災害<br>（地震により大規模な土砂災害が発生） |
| 活動を要望する地域 | 主な災害場所：●●地区 |
| 要望する活動 | 重機による土砂災害対応、倒壊建物からの救出 |

・必要な**都道府県大隊**

| | | |
|---|---|---|
| 対象 ※いずれかに● | ● 出動可能な全隊 | 一部の指定した隊※下記に指定する隊 |
| 編成に係る連絡事項 | | |
| 必要な隊、資機材 | 重機 | |

・必要な**部隊**　※必要な隊（部隊）に●を付ける。必要（部）隊数が分かる場合は、隊数を記入。

| 部隊名 | | | 連絡事項 |
|---|---|---|---|
| 指揮支援部隊 | 統括指揮支援隊 | ● | |
| | 指揮支援隊 | ● | |
| | 航空指揮支援隊 | | |
| 航空部隊 | 航空小隊 | ● | |
| | 航空後方支援小隊 | | |
| エネルギー・産業基盤災害即応部隊 | | | |
| NBC災害即応部隊 | | | |
| 土砂・風水害機動支援部隊 | | | |

＜連絡責任者＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 担当課室 | ※記入例のため省略 | 氏名 | ※記入例のため省略 |
| NTT回線電話 | | NTT回線FAX | |
| 地域衛星電話 | | 地域衛星FAX | |

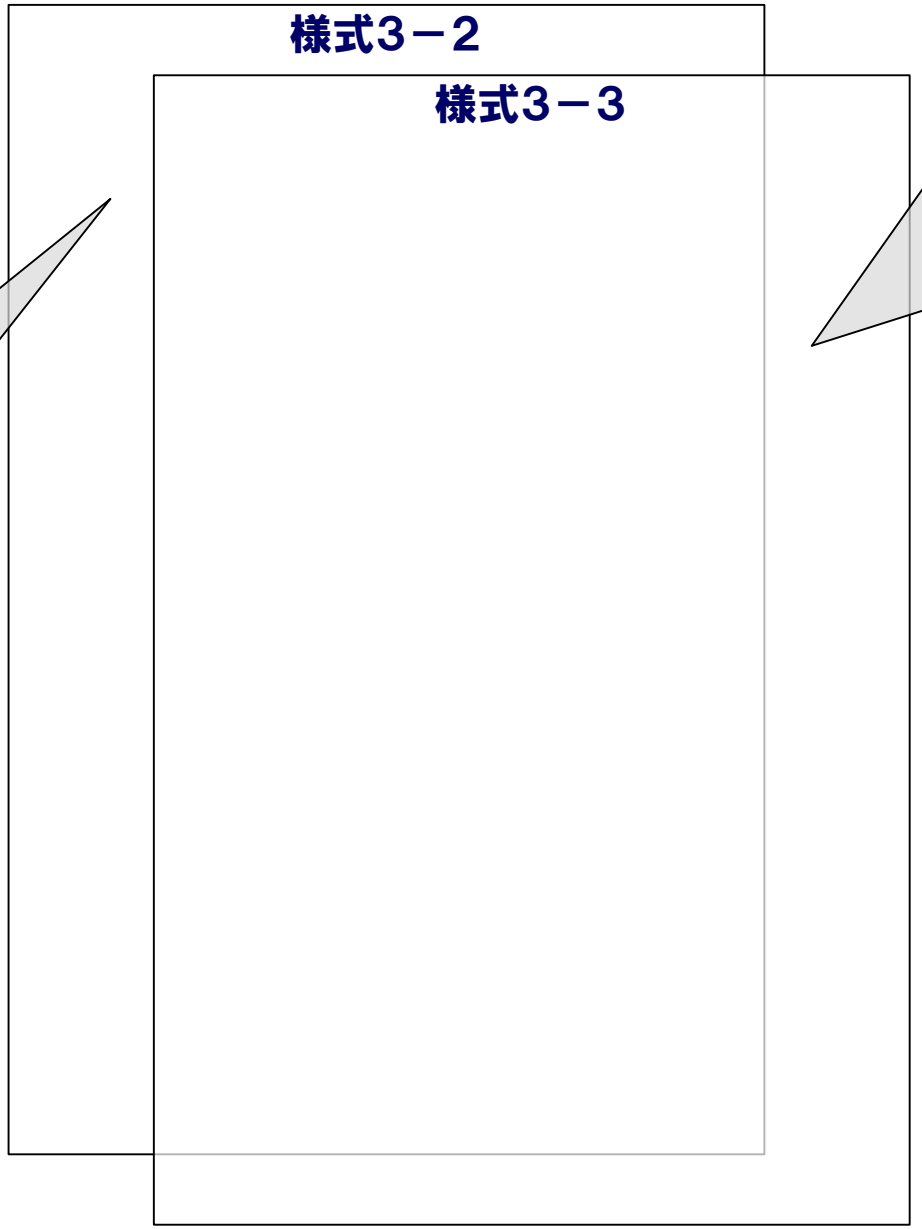
※訓練で使用する必要な様式は「作業資料ひな形」にあるため、必要事項を入力し、必要部隊数作成すること。

## ○緊急消防援助隊の派遣に伴う様式

コントローラー（都道府県）から
プレイヤーに送る。

様式３－２と様式３－１をセットで消防庁から都道府県（消防活動応援調整本部）に発出するため、コントローラーからセットで発出すること。

訓練時間短縮のために応援要請を受け取ってから５分後くらいに発出のイメージ。

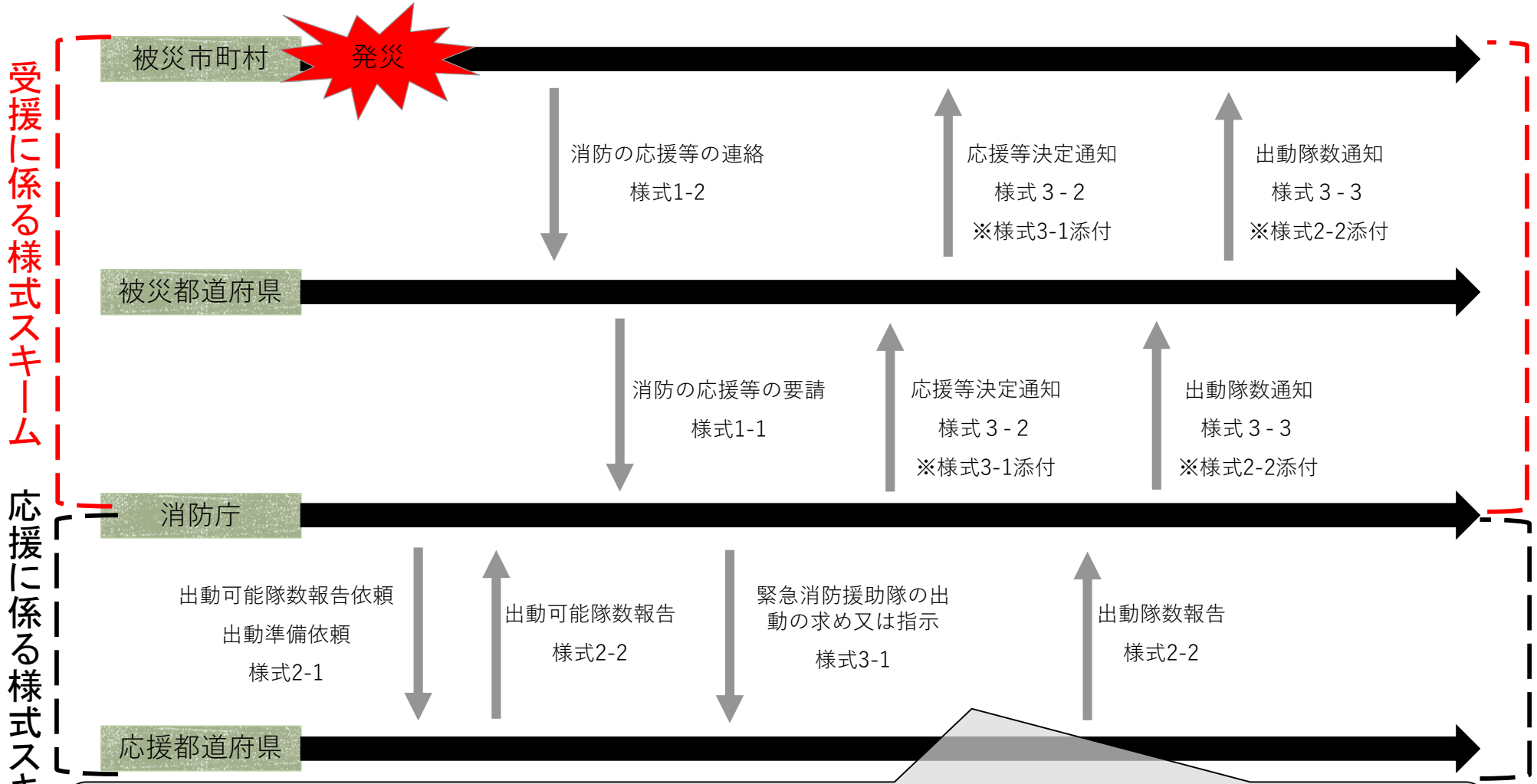



様式３－３と様式２－２をセットで消防庁から都道府県（消防応援活動調整本部）に発出するため、コントローラーからセットで発出すること。

訓練時間短縮のために応援決定通知を発出してから５分後くらいに発出のイメージ。

※訓練で使用する必要な様式は「作業資料ひな形」にあるため、必要事項を入力し、必要部隊数作成すること。

# 緊急消防援助隊の要請に伴う様式スキーム（参考）




「受援に係る様式スキーム」内のやり取りをプレイヤー・コントーラーで実施するイメージ。
「応援に係る様式スキーム」内の様式はコントローラーが事前に用意しておく必要がある。
様式のスキームを意識して訓練資料を作成することで、より実災害に近い訓練となる。

## プレイヤー向け説明会について

**概要**　訓練の目的、災害の想定、訓練当日のプレイヤーの活動内容等を説明し、訓練の効果を高める。

**対象**　プレイヤー及びコントローラーとして参加する全ての職員

**次第案**
1　訓練の日程、目的、災害想定
2　訓練当日のプレイヤーの活動内容、各担当の役割
3　質疑応答

**資料案**
1　訓練実施計画
2　訓練参加者内訳

**（開示型訓練の場合は以下の資料についても配布し、説明）**
3　状況付与一覧表
4　応援部隊一覧表
5　訓練シナリオ概要版

## コントローラー向け説明会について

**概要**　　訓練当日のコントローラーの活動内容等を説明し、各コントローラーの役割や、状況付与のタイミング等について理解し、訓練の効果を高める。

**対象**　　コントローラーとして参加する全ての職員

**次第案**　１　訓練当日のコントローラーの活動内容、各担当の役割

２　質疑応答

**資料案**　３　状況付与一覧表

４　応援部隊一覧表

５　訓練シナリオ概要版

訓練本番で使用する資機材は基本的に次の表のとおり（下線部は特に必要）。各消防本部の状況により、使用する資機材を変更する等柔軟に対応されたい。

| | |
|---|---|
| プレイヤーが使用する資機材 | • **緊急消防援助隊に係る受援計画**<br>• **地図（フィルムや付箋を貼れるように大判なものがよい。）**<br>• 緊急消防援助隊動態情報システム、システム入力用PC**情報収集用紙**<br>• **ホワイトボード、付箋、筆記用具等の備品**<br>• プリンター、FAX等の電子機器<br>• 電話等<br>• 関係機関連絡先一覧（訓練時はコントローラー連絡先一覧を準備しておく。）<br>• 各種様式関係（県内応援隊・緊急消防援助隊） |
| コントローラーが使用する資機材 | • **訓練の流れを把握するために必要な資料**<br>**（１　訓練実施計画、２　訓練参加者内訳、３　状況付与一覧表、４　応援部隊一覧表、５　訓練シナリオ概要版、）**<br>• **実際に訓練で使用する資料**<br>**（６　地震情報、７　緊急消防援助隊の様式）** |

通常、消防本部で入手する地震情報を模して準備しておくこと。

緊急消防援助隊の様式は事前に記入して準備しておくこと。

# ～　訓練の進め方　～

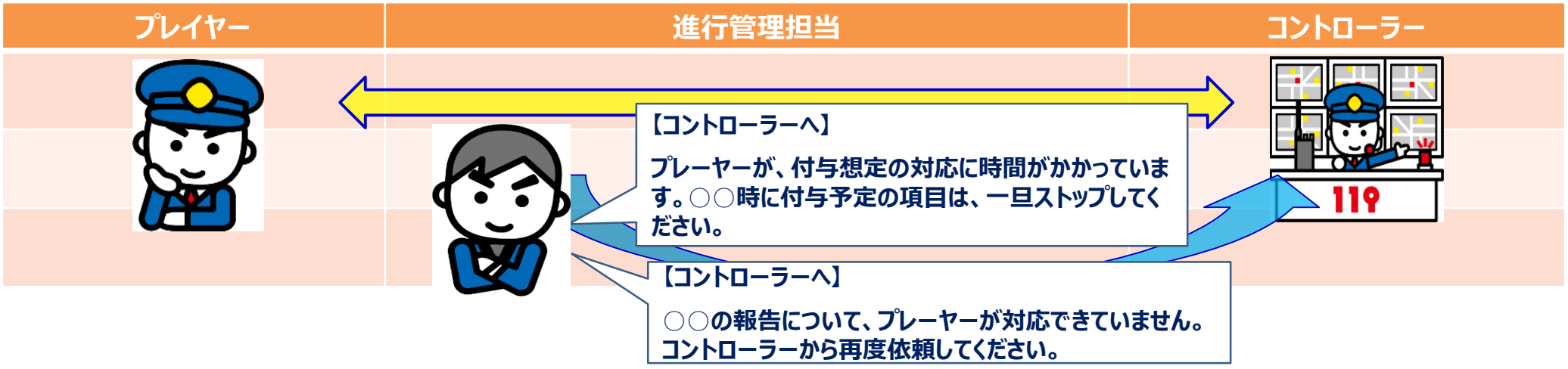
# 訓練当日

○基本的には、地震が発生した時点でスタート（コントローラーからプレイヤーに状況付与）となる。

○訓練がスタートしたらプレイヤー、コントローラーがそれぞれの役割を果たして訓練を行う。

○訓練が円滑に進むようにするためには、訓練全体の流れを管理する進行管理担当の方がプレイヤーの状況をコントローラーに伝え、コントローラーに対して進行の指示を行う等により調整することが重要である。

○進行管理担当は、「状況付与一覧表」を参照し進行調整を行うこと。




進行管理担当が行う調整例

## ■ コントローラーの付与方法（例）

コントローラーは、３状況付与一覧表のとおりにプレイヤーに状況を付与していく。付与方法は、電話又は設定したFAXボックスに紙を入れる等様々あるので各消防本部で工夫されたい。

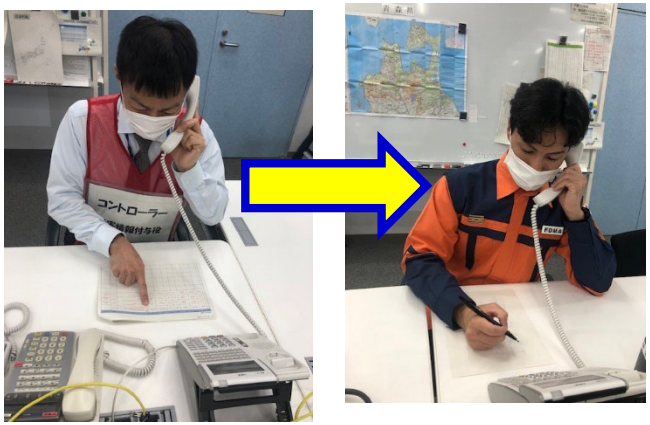
プレイヤーは、コントローラーから付与された内容を受けて訓練を進めていく。状況に応じて、進行管理、コントローラーは状況付与の順番、タイミング等を工夫することで訓練の実行性を高める。

### 【手交】

**災害情報用紙などを直接プレイヤーに渡すやり方です。これは発災と同時に地震情報を渡しているものです。**

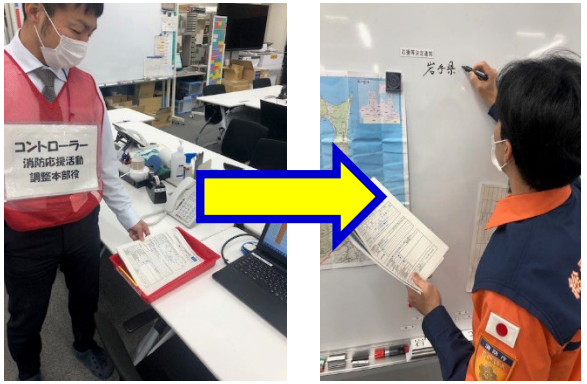
### 【電話】

**内線電話等で付与するやり方です。これは災害の情報を付与しているものです。**




### 【FAXボックス】

**FAXボックスを設定するものです。FAXで受信した想定で付与する情報用紙を置いていきます。これは緊急消防援助隊の別記様式がコントローラーから届いたところです。**



## ■ 振り返り

訓練実施後は振り返りを行い、検討課題を次回の訓練の「訓練主眼」に設定し、実行性を高めていくことが重要である。

振り返りの内容は、１　訓練実施計画で設定した「訓練主眼」が達成できたか確認していくことが必要である。具体的な例として考えられるのは以下の項目である（括弧は消防本部の受援計画作成例に対応）。

○緊急消防援助隊の要請を行う際に、インパクト事象等の被害情報（わからない場合は確実性の高い見込み）を都道府県に的確に伝えることができたか。（第３関係）
→緊急消防援助隊の要請を行う際に都道府県に伝える情報を整理し、いち早く入手する方法を検討することが必要。

○指揮本部の位置、各担当の配置は問題が無く、人の動線も問題が無かったか。（第７関係）
→指揮本部の位置は各担当の配置の見直しが必要。

○受援計画に書いているとおりに指揮本部に人員を配置して対応できたか。（第７（別表第２、様式１）関係）
→受援業務の全体量の見直し、優先順位の明確化等が必要。

○進出拠点、宿営場所について、消防活動応援調整本部（都道府県）が選定できるよう、必要な情報を提供し、案を協議することが出来たか。（第９（別表第３）関係）
→情報が不足するなら見直しが必要。

○緊急消防援助隊への資機材の貸出し、地図の提供等（準備も含む）は問題なくできたか。（第１６関係）
→改めて貸出しや提供を行う手順の確認が必要。

# ～　更なるレベルアップに向けて　～

本マニュアルは、図上訓練を実施したことがない消防本部でも図上訓練を実施するための第一歩となるように作成したものです。更なるレベルアップに向けて下記の項目を取り入れていきましょう。

○訓練は定期的に訓練を行うこと。

○訓練の成果が出てきたら、訓練プレイヤーに対しての付与情報を増やしていくこと。

（例）・関係機関情報（県航空運用調整班、県内消防機関、市町村災害対策本部、報道、消防団）

・社会インフラ（電気、水道、ガス等のライフライン）

・交通インフラ（道路、路線等）

これらの付与項目については、地域ブロック訓練図上訓練マニュアルの資料を参考にすること。